

わ げん あい ご  
和 顔 愛 語

西法寺だより No.9 令和5年5月発行

ごあいさつ

薫風さわやかな季節を迎え、過ぎしやすい季節となりました。

令和5年3月29日より5月21日まで5期30日間にわたり、本願寺におきまして『親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要』が勤まります。

阿弥陀さまに救われる教えが現在の私たちに届いたのは、親鸞聖人がご誕生され浄土真宗を開宗し、「浄土真宗のみ教え」が代々受け継がれ伝えられてきたことをごさいます。

本願寺第25代専如上人は、「浄土真宗のみ教え」をわかりやすく理解できるよう現代文でお示しくださり、今年1月の御正忌報恩講で新たな「領解文」として御消息を示されました。(次ページにてご紹介)

私たちが親鸞聖人の御誕生・浄土真宗のみ教えを喜び、次の世代に伝えて参りましょう。

新しい『領解文』(浄土真宗のみ教え)

なまあみだぶつ  
南無阿弥陀仏

「われにまかせよそのまますく救う」の  
みだぶつ  
弥陀のよび声

わたいほんのうほとけ  
私の煩惱と仏のきとりは 本来一つゆえ

「そのまま救う」が 弥陀のよび声

ありがとうといたいたい

この愚身をまかすこのままで

すくと  
救い取られる 自然の浄土

ぶつんほうしや  
仏恩報謝のお念仏

これらもひとえに 宗祖親鸞聖人と

ほうとう てんじょう  
法灯を伝承された 歴代宗主の

とうと みち  
尊いお導びきによるものです

わし  
み教えを依りどころに生きる者となり

すこ  
少しづつ 執らわれの心を 離れます

かんじや  
生かされていることに 感謝して

むさぼりいかりに 流されず

わだかな顔と 優しい言葉

よろこ  
喜びも 悲しみも 分かち合い

せいはい  
日々に 精一杯つとめます

## 新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え) についての消息

本年3月には、「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」という記念すべきご勝縁をお迎えいたします。このたびの慶讃法要は、親鸞聖人の立教開宗のご恩に深く感謝し、同じお念仏の道を歩む者同士が、あらためて同信の喜びを分かち合うためのご法要です。また、これを機縁として、特に若い人やこれまで仏教や浄土真宗に親しみのなかった人など、一人でも多くの方々に浄土真宗とのご縁を結んでいただきたいと思います。

伝道教団を標榜する私たちにとって、真実信心を正しく、わかりやすく伝えることが大切であることは申すまでもありませんが、そのためには時代状況や人々の意識に応じた伝道方法を工夫し、伝わるものにしていかなければなりません。このような願いをこめ、令和3年・2021年の立教開宗記念法要において、親鸞聖人の生き方に学び、次の世代の方々にご法義がわかりやすく伝わるよう、その肝要を「浄土真宗のみ教え」として示し、ともに唱和していただきたい旨を申し述べました。

浄土真宗では蓮如上人の時代から、自身のご法義の受けとめを表出するために『領解文』が用いられてきました。そこには「信心正因・称名報恩」などご法義の肝要が、当時の一般の人々にも理解できるよう簡潔に、また平易な言葉で記されており、領解出言の果たす役割は、今日でも決して小さくありません。

しかしながら、時代の推移とともに、『領解文』の理解における平易さという面が、徐々に希薄になってきたことも否めません。したがって、これから先、この『領解文』の精神を受け継ぎつつ、念仏者として領解すべきことを正しく、わかりやすい言葉で表現し、またこれを拝読、唱和することでご法義の肝要が正確に伝わるような、いわゆる現代版の「領解文」というべきものが必要になってきます。そこでこのたび、「浄土真宗のみ教え」に師徳への感謝の念を加え、ここに新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)として示します。

### ～ 新しい『領解文』(浄土真宗のみ教え) ～ (前頁記載)

この新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)を僧俗を問わず多くの方々に、さまざまな機会でご拝読、唱和いただき、み教えの肝要が広く、また次の世代に確実に伝わることを切に願っております。

2023(令和5)年1月16日

龍谷門主 釋 專 如

# 行事報告

## ■ 報恩講法要 11月12日(土)19時・13日(日)13時30分～

『新制 御本典作法』(親鸞聖人850年・立教開宗800年慶讃法要でお勤めされる内容)をお勤めいたしました。

ご法話はたつの市源徳寺の窪田憲龍師をお迎えし、浄土真宗のみ教えを聞かせていただきました。

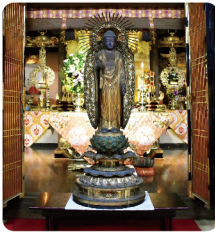
雅楽演奏会や動画配信も行いました。



## ■ <sup>せんぶつ</sup>ご遷仏法要 11月13日(日)15時30分～

報恩講法要のお勤めの後、阿弥陀さまを本堂の外陣正面にご安置し、普段げん近くで見ることのできない阿弥陀さまを皆さまにご覧いただきました。

その後、雅楽演奏の中、本堂から庫裏くらの座敷にご遷仏いたしました。



## ■ 西法寺もちつき

この度ももちつきは中止し、前回同様、仏教壮年会の皆様に『もち花』を山門、鐘楼に飾っていただきました。

本堂修復中ですが心温まる雰囲気でした。



## ■ 除夜の鐘 12月31日(土)11時50分～

除夜の鐘も家族連れで昨年より多くの皆さまがお越し下さいました。

ご多用の中、またコロナ禍にもかかわらず各法要・行事にご協力いただき誠にありがとうございました。

また、年末に住職がコロナに罹患し、除夜会・新年会を中止いたしましたことお詫び申し上げます。

## 令和5年度 行事予定

- |        |          |        |         |           |        |
|--------|----------|--------|---------|-----------|--------|
| ◆常例法座  | 4月13日(木) | 19時30分 | ◆報恩講法要  | 11月12日(日) | 19時    |
| ◆永代経法要 | 5月12日(金) | 19時00分 |         | 11月13日(月) | 10時30分 |
|        | 5月13日(土) | 10時30分 |         |           | 13時30分 |
|        |          | 14時00分 |         |           | 15時    |
| ◆常例法座  | 6月13日(火) | 19時30分 | ◆常例法座   | 12月13日(水) | 19時30分 |
| ◆常例法座  | 7月13日(木) | 19時30分 | ◆除夜会    | 12月31日(日) | 23時45分 |
| ◆盆会    | 8月18日(金) | 19時30分 | ◆門信徒新年会 | 1月13日(土)  | 11時30分 |
| ◆秋季彼岸会 | 9月22日(金) | 19時30分 | ◆春季彼岸会  | 3月22日(金)  | 19時30分 |

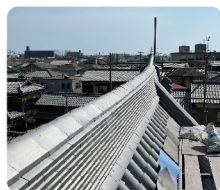
※予定が変更になる場合がありますのでご了承ください。

## 本堂修復 経過報告

昨年12月5日より開始しました本堂大屋根修復工事は4ヶ月が経ちました。鬼瓦も大きくなり、修復前より全体も大きく見え、迫力のある屋根になっています。

皆さまのご懇志こんしのおかげにより、引き続き堂縁どうえんも修復させていただきます。全体の修復完成予定は8月末頃となります。

修復中はご不便をおかけいたしますが、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。



# 臥龍山 西法寺

〒671-0122 兵庫県高砂市北浜町北脇110  
TEL 079-254-3777 FAX 079-254-4588  
<https://saihouji.lsv.jp/>



ホームページ



LINE



Facebook



Instagram